

第21回 ダイコンとアブラナ

カゴちゃん かほくがたナルドレン
 ショウくん



この花
 白いのや
 黄色のが
 あるね



白いのは
 ダイコンの
 花だよ

似てるけど
 ちがう花なの



お

抜いてみると
 ホーライ
 ベビーダイコンが!



たぐはく
 べー
 びー
 んが
 ついて
 ません!

じゃーじゃあ
 黄色の花を
 抜くとー

河北潟干拓地の春の風物詩に、中央排水路の土手沿いの見事な淡紅色のお花畑があります。よく見ると麦畑の中にも所々に淡い絨毯が広がっています。中には麦が全く見えなくなってしまう畑もあります。実はこれはダイコンの花です。試しに根っこを抜いてみると、小さいながらも確かにダイコンが付いています。

河北潟干拓地に広く見られる野草です。野外に自生するダイコンの仲間には、ハマダイコンがあり、河北潟周辺でも内灘砂丘のニセアカシア林帯などに多く見られます。干拓地で見られるものも、この砂丘のハマダイコンに似ているので、私たちも最近までこの植物をハマダイコンと呼んでいました。しかしハマダイコンは、名前の通り砂浜や砂丘に生育します。一方、干拓地はジメジメした湿地です。どうも生育環境が違うのでは、という疑問はあったのですが、まだ十分に比較検討できておりません。畑から逃げ出したダイコンかハマダイコンが干拓地に侵入しているのか正体が不明なので、とりあえずダイコンと呼ぶことにしました。

春の麦畑には、黄色い花も目立ちます。こちらはアブラナ（菜の花）です。野生化したアブラナには、セイヨウアブラナが多いといわれており、私たちも河北潟干拓地の菜の花はセイヨウアブラナだと思っておりました。昨年、干拓地の外来植物について纏めた際に、圃場の雑草を専門とする研究者より指摘があり、ご指

導いただきながら調べたところ、セイヨウアブラナではなくアブラナであることがわかりました。おそらくアブラナの変種である小松菜が逃げ出したものが正体ではないかと思っています。

残念ながら、これらの雑草は、麦栽培農家にとっては大問題で、見事なお花畑と喜んでいるわけにはいきません。少なくとも圃場内のダイコンやアブラナは、駆除することを考えなければなりません。河北潟干拓地は、海拔0m以下の場所がほとんどで本来は稲作の適地ですが、国の減反政策により長い間畑作のみが行われてきました。干拓地に適した作物や栽培方法についての知識、経験が十分でないことから、雑草対策でも試行錯誤が続けられています。夏になると、大豆畑で外来種のおオオナモミの大群落が出現します。最近では、加工米の栽培に引き続き主食用米が許可され、干拓地の約150haで稲作が行われるようになりました。どうも雑草問題の収束の方向は、適地適作ということになりそうです。（文 高橋 久）